

発議第2号

小城市議会議員定数条例の一部を改正
する条例

発議者 議会改革特別委員会 委員長 前田 博己

本市議会の議員定数は、平成17年に旧4町が合併し、小城市となった時点では合併特例の適用を受け、60名でスタートした。それ以降、平成18年3月には26名、平成22年3月には22名、平成30年3月からは20名へと条例の改正を重ね現在に至る。

本市議会は、議会基本条例第14条に定める議会改革推進のため、令和4年の改選後から、議会改革等検討委員会を任意の形で設置し、検討、取り組みを行い、令和6年6月からは議会改革特別委員会を設置して議員定数について更に協議を重ねた。

協議を重ねるなかで、令和6年

度から、議員の費用弁償を廃止した。また、定数を削減することにより、市民の声が市政に届きにくくなるという懸念から現状維持という意見もあったが、さらに議員自ら身を削り、これまで以上に市民からの付託に応えることが重要と考え、議員の定数を現在の20名から18名に減ずる結論に至り、本条例を上程、可決した。

尚、本議案に対する反対討論が行われた。



藤田 直子

藤田 庁舎防災機能強化事業としての太陽光パネルの費用対効果は。

総務部長 現在点検は必要ないが発電量の増加に関して、業者からの提案を受け追加工事をした。

藤田 太陽光パネルを両面にしたことでも何%くらいの効果が上がっているのか。

総務部長 両面パネルの採用について5%で、試算している。

藤田 二十歳の式典について4町統一の模索について

市設置の太陽光
パネルについて

市長

災害時72時間防災機能の強化とCO₂削減めざす

教育長 近年では少子化によって対象者が少なくなっている。芦刈文化体育館（小城のりスポーツセンター）が考えられる。

市の中心部のドウイング 三日月ではキャパが足りない。一つの会場で開催できないか検討をしていきたい。



▲今年の二十歳の式典のにぎわい





市丸 典夫

市政を振り返り 運動公園跡地を問う



市長

まちづくりの大きなチャンスになるのでは

市丸 市長は約26年前旧小城町長選に出馬し、公約で自然破壊につながる運動公園計画を中止された。旧町からの経緯、経過並びに市長の思いについて質問する。

市長 運動公園跡地は平成11年に一部工事に着手していた事業であり、私が小城町長に就任した平成12年にこの計画を中止した。その後、具体的な活用方針を打ち出せていないので、平成29年度に庁内の副課長級の職員を中心に運動公園跡地の利活用の検討をのべ7回開催し報告書を取りまとめた。その結果については平成30年4月の議員勉強

会で、活用するにしてもインフラ整備等の事業費が必要であり、継続して検討が必要であると説明した。その後総合戦略課においてプロジェクトチームが検討した利活用案について精査

を行い、また部長会等でも引き続き検討を行ってきた。しかし財政状況等を考慮すると何らかのプロジェクトを計画することは難しいと判断し、経営戦略会議で利活用案は見送ることと決定をしている。私は多くの皆さ



▲運動公園跡地

んの知恵を借りながら運動公園跡地を歴史、自然豊かな、まちづくりに寄与できる、素晴らしいエリアにしてもらえればという思いを持っている。



江島佐知子

福祉と教育の 20年を振り返る



市長

職員一丸となり知恵を出し最善を模索した

江島 市長は今期での勇退を決断された。市政20年の福祉、病院、教育行政を振り返る。

①福祉行政の成果と課題
②市民病院の成果と課題
③教育行政の成果と課題

市長 ①認知症地域支援推進員の配置、支えあいセンターの設置等高齢者が地域で暮らし続けることができるよう取り組んだ。障害者相談支援センター設置、障がい者就労支援として資源物回収所を開設。子育て支援では医療費助成の対象拡大や病児病後児保育施設の開設等取り組み、令和7年度からこども家庭センターを設置する。コロナ

の感染拡大時は医療、福祉の現場の尽力と市民の協力で困難を乗り越えた。今後も生き生きと安心して暮らし続けることができるよう取り組んでほしい。

②地域医療の中核を担ってきたが施設の老朽化や医師不足の中、多久と統合し公立佐賀中央病院となる。地域の健康をしっかりと守り続けてほしい。

③三日月小、小城中、牛津中、牛津小の整備、小中一貫校芦刈観瀾校の開校、教室の空調整備、給食センター建設等の施設整備、一人一台のタブレットの導入によるGIGAスクー



▲7月開院予定の公立佐賀中央病院



深川 高志

地場産業の振興 及び現状とは



市長

経済の変化の中で地域産業も
頑張っている

深川 20年間小城市の産
業に関わってきた市長と
して、小城市としての事
業においてどのような繁
栄、効果をもたらしたの
か。

市長 農業振興につい
て、担い手不足に対し、
新規就農支援対策を本人
への給付、施設整備への
補助も行ってきた。芦刈
漁港を市営漁港として指
定し、近年、桟橋周辺の
泥土を解消する浚渫工事
を行い安全に漁港を利用
することができた。工業
団地を小城市が整備し、
企業誘致を行った。成果
として、雇用の確保定住
推進の効果があつた。小
城スマートインターチェ

ンジ整備により、小城市
内から高速道路までのア
クセス時間の短縮による
物流の効率化が図られ清
水の滝等の観光施設にお
ける交流人口の増加にも
寄与している。牛津川遊
水地の整備については、
小城市の防災、遊水
地から下流域の小
城南地区の減災
に大きく貢献する
ため、近隣地区に御
理解、御協力をいた
だきながら工事を
行っている状況で
ある。小城市まちな
か市民交流プラザ
を整備し、西九州大
学看護学部を誘致
し、小城地区中心市
街地のにぎわい創



▲合併20周年を迎えた小城市

出につながった。公共下
水道と市営浄化槽の区域
見直しに着手し、新たな
全体計画を策定し公共下
水道区域の縮小と市営浄
化槽区域の拡大を行い、
小城市の情勢に適した新
たな区域を設定した。

光岡 江里口市政の20年
間の実績と反省というこ
とで、各4町の事業の思
い入れ、そして思い出に
残る事業、苦勞された事
業、判断に迷われた事業
等は。

市長 20年間を振り返る
と、4町のそれぞれの事
業が展開できたのは、分
庁方式から本庁方式に移
行したのが大きなきっか
けと思っている。また、
小城周辺自治体との広域
行政における思い出に残
る事業としては、令和2
年に広域ごみ処理セン
タークリーンヒル天山の
整備ができたこと。そし
て、現在小城市民病院と
多久市立病院を統合した

公立佐賀中央病院の建設
も進み、令和7年7月の
開院に向けて準備をして
いる。平成17年4月に小
城市の初代市長に就任
し、5期20年
にわたり、こ
れまで培われ
てきた歴史や
伝統、文化、
そういった
ものを大切に
してきた。市
民の皆様方の
声をしっかりと
受け止めなが
ら、官民一体
となった元気
なまちづくり、
そして誰もが
安心して暮ら
せるまちづく



光岡 実

江里口市政20年間 を問う



市長

市民が主役の市政の実現に取
り組んできた

りをめざすという私の基
本姿勢に基づいて、市民
が主役の市政の実現に一
貫して取り組んできた。



▲小城市市制施行20周年記念式典の様子